

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	名古屋港の物流機能の維持・強化、快適な港湾空間の形成（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	名古屋港管理組合												
計画の目標	既存ストックの改修・改良により、物流機能の維持・強化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,611	A	1,611	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	老朽化や故障などにより、使用停止した港湾施設数を計画期間中0件（R6まで）とする。 【港湾施設】老朽化や故障などにより、使用停止した港湾施設数（件）	0件	0件	0件
2	緊急輸送道路に位置する橋梁の改良率の向上 【緊急輸送道路上の橋梁】改良率の目標値 港内の緊急輸送道路に位置する7橋梁のうち、現在改良済であるのは5橋梁であるが、令和6年度末までに6橋梁を改良済にする。（5/7=0.714、6/7=0.857）	71%	71%	86%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
愛知県地域強靱化計画及び名古屋市地域強靱化計画に基づき実施される要素事業：A全て												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	改良	1-A-2 岸壁改良(金城地 区(1))	D=-4.0~-7.5m、L=970m(W71 ~75)	名古屋港 金城 地区(1)						32		策定済
	A02-002	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	改良	1-A-5 岸壁改良(内港地 区(1))	D=-3.5~-10.0m、L=2,056m(W 2,11~14,39~41,43~48)	名古屋港 内港 地区(1)						304		策定済
	A02-003	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	改良	1-A-6 岸壁改良(内港地 区(2))	D=-3.5~-10.0m、L=2,281m(W 15~18,22~25,29,31~34)	名古屋港 内港 地区(2)						75		策定済
	A02-004	港湾	一般	名古屋港 管理組合	直接	名古屋港管 理組合	拠点	改良	1-A-8 臨港道路(橋梁) 改良	L=126m(潮風橋)	名古屋港 潮風 心頭						1,200		策定済
	小計																1,611		
	合計																1,611		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
公正な評価に向け、幅広い見地から意見を得るため、令和8年1月20日に学識経験者で構成する「名古屋港管理組合公共事業評価委員会」を開催し、事後評価を取りまとめた。	令和7年度
	公表の方法 名古屋港のホームページにおいて、事後評価を公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【港湾施設の改良】 厳しい財政状況の中、最大の事業効果が発現できるよう重要性の高い施設を優先的に実施し、計画期間中の安全な施設利用を維持することができた。</p> <p>【緊急輸送道路上の橋梁の改良】 目標年次までに完了しなかったが、着実に改良を進めることができた。（上部工について施工延長126m×2(上下線)=252mのうち189m完了）</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>【港湾施設の改良】 物流機能の維持強化を図るため、長寿命化計画に基づき、港湾施設を適切に管理する。</p> <p>【緊急輸送道路上の橋梁の改良】 物流機能の維持強化を図るため、目標達成に向け、引き続き整備に努める。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	老朽化や故障などにより、使用停止した港湾施設数	
	最終目標値	0件
	最終実績値	0件
2	緊急輸送道路上に位置する橋梁の改良率	
	最終目標値	86%
	最終実績値	71%

(図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

